

2022年12月

米国グロース株運用デスクから



Michael Li, Ph.D.

シニア・ポートフォリオ・マネージャー



Henry He, CFA

ポートフォリオ・マネージャー



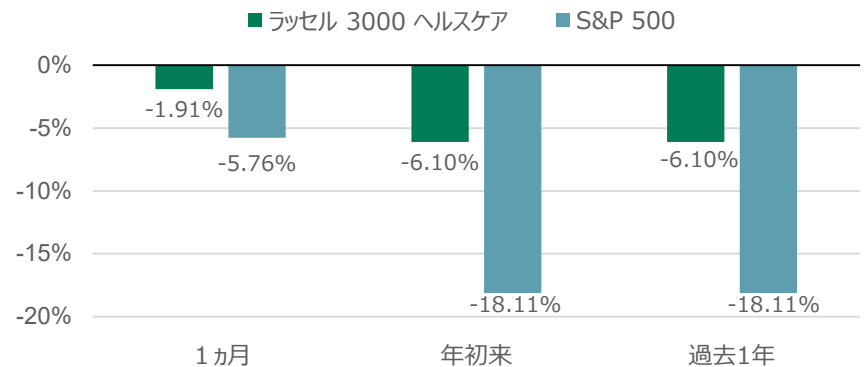
Kevin Lewis, CFA,
CAIA

シニア・クライアント・ポート
フォリオ・マネージャー

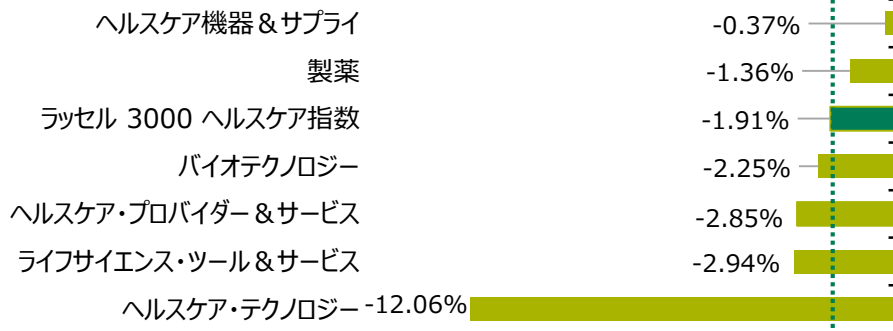
市場ハイライト

- 12月の株式市場は再び下落し、2022年の米国株式市場は2007-2008年の金融危機以来の大幅安となりました。景気後退の可能性、FRB（米連邦準備制度理事会）の利上げ継続、中国でのゼロコロナ抗議デモやロシアによるウクライナへの軍事侵攻によるマクロ経済リスクへの懸念が市場の足かせとなりました。
- ヘルスケアセクターは小幅な下落にとどまり、月次および年次では市場全体より、はるかに良く持ちこたえました。2022年の同セクターは、より持続性のある収益の伸びとイノベーションの躍進から恩恵を受けました。
- 業種別では、月間で上昇したヘルスケア分野はありませんでした。ヘルスケア機器 & サプライはわずかな下落にとどまり、製薬とバイオテクノロジーはそれぞれ約1%と約2%の下落となりました。年間では、バリュー（割安）志向の製薬とヘルスケア・プロバイダー & サービスがそれぞれ約7%と、約4%の上昇となり、グロース（成長）志向のヘルスケア・テクノロジーとライフサイエンス・ツール & サービスはそれぞれ、約37%と約27%の大きな下落となりました。

ヘルスケア・セクター・パフォーマンス



業種別リターン（1ヵ月）



2022年12月31日付データ
出所: FactSet. 米ドル建てリターン
過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

新型コロナウイルス発生から3年を迎えて

過去3年間、世界的に見ても新型コロナウイルスへの対策は進んでいますが、この疾病は新たな変異株が増加し、感染地域が広がりを見せているため、依然として大きな課題を抱えています。このウイルスは、時間とともに急速に進化し変化を遂げるという驚くべき特性を示しています。

しかし、「良い」ニュースは、新たな感染の波が次々と発生するたびに感染力は強くなるものの、致死率は低下しているように見えることです。このことは、WHO（世界保健機関）のデータで、死亡者数のピークが2021年1月、感染者数のピークが2022年1月であることから説明できます。

日本の研究者たちは、最新の感染力の強いXBBオミクロン変異株が2022年半ばに発生したと推定しています。この変異株は、以前の変異株よりも感染力は強いものの、致死率は低いとみられています。これは、この疾病自体の性質によるものか、あるいはワクチンが広く普及していることや、世界の多くの人々が高い自然免疫を獲得していることによるものか、いずれかの可能性が考えられます。しかしながら、ワクチンの広範かつ公平な配布に関しては、まだ多くの課題が残されています。

自然免疫とワクチンによる免疫の問題は、現在、特に中国で深刻になっています。これは、全国的な抗議を経て、中国が12月に検疫、検査、接触者追跡に関するゼロコロナ政策による制限を突然解除したためです。このため、中国全土で感染が拡大しています。中国の国家衛生健康委員会によると、12月の最初の3週間で2億5千万人近くが感染した可能性があると考えられています。同国のゼロコロナ政策は議論の余地はあるものの極めて効果的で、中国にはこの疾病に対する自然獲得免疫が基本的に存在してないとも考えられています。また、中国の人口の80%以上がワクチン接種を受けていますが、これが最新の変異株に対してどの程度の効果があるかは不明です。さらに、感染した場合、最も重症化しやすい高齢者は、ワクチン接種を受けていない可能性が非常に高いとみられています。

中国政府はこれまでのところ、今回の流行による死者はごく一握りであるとしか発表していません。しかし、この1か月の間に死亡率が劇的に上昇したことを示す事例証拠があり、これは公式発表の数字には反映されていません。香港の学者による推計では、中国本土の100万人以上の住民がこの冬にこの疾病で死亡する可能性があると考えられています。

しかし、中国はゼロコロナ政策からの脱却に向け、いくつかの措置を講じました。2022年初め、政府は初の吸入式新型コロナウイルスワクチン、治療薬のPaxlovid™、そして中国製の治療薬を承認しました。ピオンテックのmRNAワクチンはマカオと香港でも入手可能ですが、少なくとも今のところ、中国本土では規制上の理由で導入の目途が立っておらず、ワクチン接種を希望する人は国外へ渡航しなければ受けられないというのが現状です。

注目銘柄：ピオンテック

ピオンテックは、mRNAワクチンと治療薬の新興分野におけるリーダーであり、個別化免疫療法にまたがる幅広いプラットフォームを持つことから恩恵を受けています。同社の最高クラスの新型コロナウイルスワクチンであるComirnaty®は、世界のワクチン接種対策の中核を担っています。

ピオンテックは、マラリア、HIV、結核など、世界の重大な健康問題に対処するためのmRNAワクチンの幅広いプログラムを有しています。また、同社は、未だ満たされていない高いニーズに対応するために開発中の約10種類のmRNAワクチン候補によって、感染症対策にインパクトを与える可能性も持ち合わせています。ワクチン以外では、まだ初期段階であるものの、特に癌に焦点を当てた広範な免疫研究プラットフォームを有しています。

同社は、疾病の新規または革新的な治療法に焦点を当てていることから、同社の基盤となる事業と社会的インパクトの間に明確な整合性があることを示しています。当社のサステナブル・インベスティング・チームは、同社のESGリスクについて、全体的に安定した傾向を示していると考えています。

アメリカンセンチュリーESGトレンド・シグナル*は次の様に定義されています。

ポジティブ - 発行体の全体的なESGプロフィール、または特定のカテゴリーのパフォーマンスが過去3年間に改善している、または今後改善する見通しがある。

安定 - 発行体の全体的なESGプロフィール、または特定のカテゴリーのパフォーマンスが過去3年間に変化していない。

ネガティブ - 発行体の全体的なESGプロフィール、または特定のカテゴリーのパフォーマンスが過去3年間に悪化している、または今後悪化する見通しがある。

*ESGトレンド・シグナルは、発行体の全体的なESG評価と、E、S、Gの個々のカテゴリーのパフォーマンスの両方に適用されます。

持続可能な開発目標（SDGs）は、国連総会によって設定された17のグローバル目標です。業界および政府リーダーからなるグローバルチームによって開発され、193の加盟国すべてによって採用されました。SDGsには、世界で最も差し迫った問題のいくつかを2030年までに解決することを目指した17の目標と169のターゲットが含まれます。目標には、貧困の撲滅、環境資源への取り組み、ジェンダーと所得の平等の達成が含まれます。

アメリカンセンチュリーインベストメントの運用戦略の大半で、各ポートフォリオマネージャーが採用する投資プロセスにおいてESGを組み入れています。ポートフォリオマネージャーは、ESG（環境・社会・企業統治）要因を投資戦略に組み込む際に、伝統的な財務分析では捉えることができない、これらの問題を考慮することになります。ポートフォリオマネージャーは、投資対象を選定する際に、ESG要因をポートフォリオの既存の資産クラス、時間ホライズン、投資目的に組み入れることとなります。そのため、ESG要因によりポートフォリオの投資機会が制限される可能性があります。ESG要因を組み込んでいない他のポートフォリオと比較して、パフォーマンスが異なってくる可能性があります。ポートフォリオマネージャーは、ESG問題がポートフォリオの保有銘柄にどのようなインパクトを与えるか、最終判断する権限を持ちます。ポートフォリオマネージャーの分析結果によっては、投資意思決定が、ESGに対する配慮の影響を受けない可能性もあります。

過去のパフォーマンスは将来の投資成果を保証するものではありません。

ここに表明される意見は、アメリカン・センチュリー・インベストメンツの意見であり、アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオの将来のパフォーマンスを保証するものではありません。この情報は参考情報の提供のみを目的としており、投資アドバイスを目的としたものではありません。特定の有価証券への言及は、説明目的のためのみであり、有価証券の購入または売却の推奨を意図したものではありません。提示された意見及び予想は当社の判断とその他のポートフォリオ・データを含んでおり、予告なしに変更されることがあります。

この情報は、個人的な推奨あるいは信任アドバイスを意図したのではなく、投資や会計、法律、税務アドバイスの判断に用いられるべきではありません。

日本の投資家向け：この資料は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されているいかなる有価証券やアドバイス、サービス、投資戦略、プロダクトの売買の勧誘を目的としたものではありません。この資料は米国外のリテール投資家を対象としています。この文書の内容は規制当局によって審査されていません。American Century Investment Management, Inc. は日本で登録されていません。

American Century Investment Management (Asia Pacific), Limitedは証券先物委員会（「SFC」）のタイプ1およびタイプ4の登録を保持しています。American Century Investment Management, Inc.はSFCに登録されていません。

American Century Investments®

4500 Main Street
Kansas City, MO 64111
1-866-628-8826

330 Madison Avenue
New York, NY 10017
1-646-658-7700

3945 Freedom Circle
Santa Clara, CA 95054
1-866-628-8826

360E. 2nd St.
Los Angeles, CA 90071
1-866-628-8826

2 Ice House Street
Hong Kong
+852 3405 2600

12 Henrietta Street
London, WC2E 8LH
+44 207 024 7080

1 Farrer Place
Sydney, NSW 2000
+61 2 88233403

Taunusanlage 8
60329 Frankfurt, Germany
+49 69 8088 5501

【野村アセットマネジメントからのお知らせ】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

■投資信託に係る費用について

2023年1月現在

ご購入時手数料 《上限3.85%(税込み)》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用(信託報酬) 《上限2.222%(税込み)》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じたかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会